



ふるさと栗山川に



早く帰ってきてね 小学校5年生がサケの放流

恒例となったサケの稚魚の放流が3月4日、横芝小・大総小・東陽小（光町）の5年生250名の子どもたちによって栗山川の横芝堰で行われました。

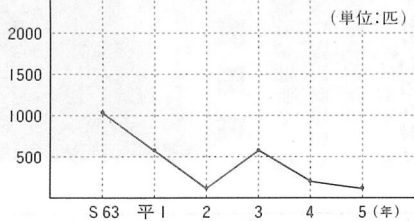
今回放流されたのは、県内水面水産試験場で育てられた160万尾と小学生が今年1月から学校でふ化させた2千尾で、体長約5センチほどに育った元気な

稚魚は、「大きくなって早く帰ってこいよ」と子どもたちのエールに送られ、旅立っていきました。

ところで、みなさんは今年栗山川に帰ってきたサケの数をご存じですか。今年は、203尾で、年々その数が減少していきま

せん。川の汚れが原因かもしれない。多くのサケがふるさと栗山川に帰ってこられるよう、そして、子どもたちの願いがかなえられるよう、みんなで協力し、川をきれいにしましょう。

栗山川に帰ってきたサケの数



お年寄りのみなさんと交流 大総小学校の児童が老人ホームを慰問

大総小学校(井上秀次郎校長)では、お年寄りと接する中で、子どもたちに温かい思いやりの心を養ってもらおうと、毎年老人ホームの慰問を行っています。



「おばあさん、次はどう取るの」

今年も3月2日に、1年生から3年生までの児童が老人ホームを訪れ、終始和やかな雰囲気の中、お年寄りのみなさんを囲んでの歌や踊り、また、手づくりの首かざりのプレゼントなどを行いました。

受章おめでとうございます

3月18日、四街道市文化センターで開催された「千葉県消防大会」で、消防活動に尽力された方々の表彰式が行われ、町消防団では次の方々を受章されました。

●日本消防協会会長表彰
功績章
伊藤 良一

(本部分団長 遠山)

●千葉県消防協会会長表彰
功績章
伊藤 弘行 (副団長 中台)

敬称略



総の野は明日も晴るかしつけくも森を洗めて夕映え残る

吉岡 信子

地に低くタンポポは土手に咲き始め寒風の中にも春の気配す

池田 春江

春嵐轟々と吹き耐へてゐるビニールハウスを基より揺らす

宇井 ちい

梅の花皆賑やかにほころびて卓の花びんの水べりはげし

向後 房

電話器に深々おじぎをひとつして男は受話器をゆつくりと置く

八角 三枝

意の如く雪の景色の撮れざればつぎ降る待たむと自らに言ふ

齋藤 要

葉屋根のトタン囲ひの軒先につらの下がれりわが故里は

佐瀬 初音

基礎工事を手伝ふ異国の青年にコーヒーいれて妻はもてなす

齋藤 秀男

賜ひたるスイトビー二十七日卓飾りつひの小花となりたり今朝は

選者 齋藤つね子

